



今月の表紙 徳山の盆踊り（8月15日）にて
8月15日、徳山地区で行われた「徳山の盆踊り（国指定重要無形民俗文化財）」取材しました。
徳山の盆踊りは250年以上前から続くといわれる伝統行事で、「鹿ン舞・ヒーヤイ・狂言」の3部で構成されています。
今回はいつもと趣向を変えて「ヒーヤイ」にスポットを当ててみました。鹿ン舞の迫力ある姿も魅力的ですが、華麗に舞う姿もまた趣があります。あどけない表情を残しながらも、あでやかに舞う姿に会場からはため息がもれていました。私は、舞台を見つめたまま、夢中でシャッターを切っていました。（記事は「まちの話題」ページに掲載）

目次 contents

2 第74回日本版画協会展 畦地梅太郎賞を受賞 前澤妙子さん（版画家・崎平出身）

4 平成18年度 決算報告 ■一般会計・特別会計■

8 町内中学生の「カナダ研修記」

11 11月4日は産業文化祭ですよ！ 日程と内容のご案内

12 平成20年4月から「後期高齢者医療制度」が始まります

14 役場の窓辺から
人間ドックのお知らせ／地名保育園を試験的に開放します／
しずおか子育て優待カードが県内全市町で使用できるようになりました／ほか

18 まちの話題
「徳山の盆踊り」にぎやかに開催／さゆり幼稚園主催「ママと一緒に親子コンサート」／
中川根商工会主催「夕涼み・夏まつり」を開催／ほか

20 知っていますか？「ペットの正しい飼い方とマナー」

21 地球に “イイコト” 始めよう 家庭から出る「生活排水」について

22 生涯学習のひろば 海の子山の子交流教室・海の体験／市町村対抗駅伝練習開始／ほか

24 ぐらしの情報ページ
市立島田市民病院より公開講座のご案内／労働保健への加入はお済みですか／
10月は仕事と家庭を考える月間です／ほか

26 みんなの広場
戸籍の窓辺／生まれてくれて、ありがとう／川根本町のひとひら／ほか

28 学校レポーター'sコラム
川根高等学校 1年 岡埜谷美樹さん



P2



P9



P16



P18

第74回日本版画協会展 畦地梅太郎賞を受賞

前澤妙子さん（版画家・崎平出身）

作品を寄贈して下さった 西村榮司さん（崎平出身）・中村アツコさん（千頭出身）



写真右から西村榮司さん、前澤妙子さん、中村アツコさん、杉山町長

私が絵を描くときに一番気になるのは、その物の持っている性質です。それを表現するた

めの意識としての表情が絵を描く緊張感となっています。その行為によって、その物の意識をより強く自分の中に植え込み、画面は展開されていきます。高校生の頃から油絵を描いていましたが、その頃は、ただ描くという行為だけをしていました。しかし、徐々に細かい描写をすることによって平面に物を押さえつけていくといった手法に、疑問を感じるようになっていきました。

当初から私は、物を光で見ているのではなく、凹凸や微妙な表面上の質を追っていました。私の解釈では、その行為により、物に対してのさわっているような感覚を得て存在を確認し、絵具を重ね、ペタペタと形成することで、平面の画面に定着させているイメージでした。そうすることで思考の中に固定され、造形的な人形を作っている感覚を平面上での行為に重ねていたわけです。「描写」という、自分の手法への意味を理解したときに、やっとその必要性や「好きなもの」「造ること」への接点を見いだし、踏み切ることができたように思います。造りたいテスクチャーを自然と選んでいたのだと思えば「描く」ということに対して迷わず向き合えるようになっていきました。紙での制作においても、鉛筆でトーンをのせるというよりも、紙を彫っているように剥ぐる行為がとても気持ちよく、型紙の中を食い込んでいくような感覚に一種の快楽を覚えました。「描く」と「造る」との混流した私の意識の中での制作は、そうした形式から銅版への憧れとなっていったように思います。 「意識された物語 前澤妙子」より

8月15日、作者前澤妙子さんと、寄贈者の西村榮司さん、中村アツコさんが、杉山町長のもとを訪ねし、この素晴らしい作品を寄贈してくださいました。
前澤さんは町長との歓談の中でこの作品のイメージするものや崎平で育った幼少の頃の思い出など

を話し、また、作品を寄贈して下さった西村さんと中村さんは、この作品が創り出す立体的な空間や浮かび上がる表情に一目惚れしたことや、ふるさとの皆さんに前澤さんという芸術家がいることを紹介したかったと話しました。
この作品「移動図書館」は、たくさんの本を車に積んで町を巡回している様子が描かれていて、開かれた本の中から「物語」があらわれるイメージを表現したと前澤さんは説明します。
寄贈された作品は、現在文化会館ロビーに展示されていますので、訪れた際は作品をご覧になってみてください。

前澤さん、西村さん、中村さん、ありがとうございます。
シリーズ「地域再発見の学び舎」は、都合により2回お休みさせていただきました。次号（11月号）から再開する予定です。

作品は移動図書館車が町を巡回しているイメージ
開いた「たくさんの本」から物語があらわれ出す